



9月15日、美国町小泊海浜公園で積丹町商工会（山本俊三会長）が主催する



『しゃこたん「軽トラ市」が開催され、町内外から多くの人が来場しました。初めてのイベントは、町内19の農家や飲食店などの事業所が参加。ジャガイモやカボチャ、トマトなどの新鮮な野菜が軽トラの荷台で販売され、イカやエビなどの魚介類、焼き鳥や焼きそばなどの町の特産品の格安な



提供に大勢の来場者で賑わいました。山本会長は、「来年も開催し、観光客にも足を運んでもらえるようなイベントにしたい。」と今後の抱負を話していました。

### まちづくり活動支援事業補助金決定（7月募集）

○地域づくり支援事業（ソフト事業）（8/7 同事業選定委員会答申）

事業名 【申請団体名】	事業概要	交付決定額 （補助金要望額）
しゃこたん「軽トラ市」 開催事業 【積丹町商工会】	・町内の事業者等が、農水産物を軽トラック等での販売を行い消費者との交流を図る。	600,000円 (600,000円)

## 9月25日検針分（10月31日納入分） 上下水道料金が引上げられます！

上下水道事業特別会計の収支改善と上下水道事業の安定的な運営を続けるため、今月納入分から、「基準水量」の改定により、料金の算定が変わりました。

上下水道使用料金は、町民の皆さんの安全安心な水道水の安定供給と下水道の適切な処理を支える大切な収入源です。町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

### 【水道料金】

用途	基本料金			超過料金 1m <sup>3</sup> につき
	水量(旧)	水量(新)	料金	
一般用	10m <sup>3</sup> まで	8m <sup>3</sup> まで	2,000円	200円
営業・団体用	20m <sup>3</sup> まで	16m <sup>3</sup> まで	4,000円	210円
農業用	30m <sup>3</sup> まで	24m <sup>3</sup> まで	3,600円	80円

(消費税抜)

### 【下水道使用料】

用途	基本料金			超過料金 1m <sup>3</sup> につき
	水量(旧)	水量(新)	料金	
一般用	10m <sup>3</sup> まで	8m <sup>3</sup> まで	1,500円	150円
営業・団体用	20m <sup>3</sup> まで	16m <sup>3</sup> まで	3,000円	150円

(消費税抜)

(注) 基準水量が引下げられたことにより、使用水量に応じた超過料金が増えます。

【問合わせ先】 役場建設課：TEL 44-3383

最強の消防団を目指して！

# 「教育訓練」を実施！

北後志消防組合積丹消防団（今井諭団長・団員102名）は9月15日、消防積丹支署で教育訓練を行いました。

参加した団員は、団長の訓辞と松井町長の激励を受けて、礼式や小型ポンプ操法、模擬火災等の訓練を行いました。

訓練礼式と小型ポンプ操法訓練では、緊急時の迅速な消防活動に必要な基本動作と手順の再確認を行い、後半の消防団と支署職員合同の模擬火災訓練では、支署の建物を火災発生現場に見立て、消防車両で現場に到着するところから訓練を開始。団員は小型ポンプやホースの取扱い、そして放水にいたるまでの一連の流れを再確認する厳しい訓練に汗を流しました。



▲模擬火災放水訓練

9月9日  
「救急の日」

「消防フェスティバル」

消防士の仕事を体験！

北後志消防組合積丹支署（俵

谷支署長・署員17名）は、9

月9日「救急の日」に、同支

署前で住民体験型の「消防フェ

スティバル」を開催し、小学

生や親子連れで賑わいました。

昨年から続く催しでは、消

防資器材等が並べられた展示

ブースのほか、応急手当や放

水、ロープ渡り、濃煙が体験

できるブースが用意されまし

た。

展示ブースでは、災害時に

使用する大型エアテント内に、

普段近くで見ることができな

い空気呼吸器や水難救助資器

材などが並べられ、パネル展

示には過去の災害写真が張り

出されるなど、災害の恐ろし

さが映し出されていました。

放水体験では、的“を目標

けて放水し、消防車から出る

水の圧力を体感。ロープ渡り

では、安全帯とヘルメットを

装備し、力いっぱいロープを

掴み、渡り切る体験に挑戦し

ました。

その他、濃煙体験や応急手

当体験、消火器体験も行い、

煙りの怖さを学びました。

また、火遊びをする悪者

「火遊びマン」と、それを退

治する「消防戦隊シャコレン

ジャー」の寸劇では、シャコ

レンジャーと火遊びマンが戦



▲シャコレンジャーからAEDの使用法を学ぶ

い、火遊びマンが心肺停止に。シャコレンジャーがAEDや心肺蘇生法で火遊びマンを助けるというもので、応急手当の実践方法を参観者に披露しました。

今回の消防資器材等を使用した体験型イベントは、町民の消防活動への理解を深め、子どもたちが消防士の仕事や災害の怖さを学ぶ良いきっかけとなりました。積丹支署では今後も、住民体験型のイベントを続けていくことにしています。

▲消火器体験

